



北海道方面

幌別の道路工事進捗

室蘭土木管内の失業者救済事業たる佛坂と蘭法華の兩國道改良工事は着手以來工事順調に進行し豫期の通り十二月中竣工せしめ蘭法華の隧道掘鑿工事は二月上旬に竣工せしむべき豫定である。而して就業人夫並に熟練工の使用豫定延員數は室蘭五萬一千四百七十一名、蘭法華二萬九千七百三十二名、合計八萬一千二百三名にして現在室蘭にては約四百名、蘭法華約二百名を使役し

地方通信

て居り、起工以來今日迄の總使役員數は三萬千七十餘名、外に請負者使役員數九百五十五名で賃金は熟練するに従つて七十錢から九十五錢となり九十七錢五厘となり現在は一圓近くなつて居る。

夕張道路の竣工

石狩國夕張の失業救済道路工事は昨年十二月着手以來概ね順調に進捗中の處新夕張五番坑澤の水害に思ひ寄りぬ日數を費した爲め竣功期が多少遅延したが其の後天候に恵まれて工事着々抄取り既に大部分竣成したので九月三十日午後一時五番坑澤の大暗

渠附近に式場を設け盛大な竣工式を舉行する豫定の由。

石狩の深川橋工事進む

總工費二十二萬二千圓を以て北海道廳直營工事中の深川橋工事は着々進捗し深川町停車場通りを直通音江村を経て國道幹線に達する路線も來る十一月上旬には面目を一新することになつて居る。

東北方面

金華山道路起工

金華山道路は産業道路として縣道に編入されたが萬石浦が渡船では依然不便であるといふので渡波町では一萬四千圓を奮發し縣は地質の調査を行つた結果愈々既定通り架橋するに決した。同工事中約六萬圓の橋脚は鐵筋コンクリートとし、欄干其他は堅牢と優雅を主とし渡波町の景觀を添へる筈

である。竣工の曉は祝田から牡鹿半島を縦斷して八里、鮎川港まで自動車を通ずる事になる。未開の半島産業が興ると共に未知の奇景、雄大な半島風光が一般都人士にも展開されることであらう。

十二間道路着手

仙臺都市計畫課では道路改良の第一着手として課員數名を増員して準備に取かゝり用地約七百坪を買収することになり、近く各地主と交渉する豫定であるが荒地小學校の敷地に當る分は目下鋭意建物の移轉中である、而して本年度の道路擴築は土樋角迄であつて道路幅員は十二間となるので清水小路よりも尙三間廣く立派な模範大路が出る譯である。

鬼怒橋起債認可

工費三十七萬圓を投じて目下改築工事中である栃木縣鬼怒橋の架替は昨年度に於て工事完了の豫定であつたが工費が途中で三

十二萬圓から三十七萬圓に増額され橋面の鋪裝其他に増工事が行はれるので本年度に及び又工費の點でも六萬圓の不足を來したので更に起債に依つて補充することとなり先頃内務省に起債申請中であつたが愈々認可になつた。

公益上の篤行表彰さる

道路改築の爲め私有財産の寄附を申出で公衆に利便を圖りたる篤行を嘉せられ今回左記の通り褒狀を下賜された。

- 宮城縣仙臺市八幡町 天江勘兵衛
 - 同 沼澤喜代治
 - 右ハ昭和六年二月道路敷地トシテ土地二畝二十七步寄附ス、仍テ褒賞條例ニ依リ之ヲ表彰セラル
- 昭和六年九月十四日 賞勳局

北越方面

新潟の失業救済路線決定

新潟縣の失業救済道路改良工事は昨年の縣會で議決した六十八路線總延長一萬六千八百二十米、工費十九萬五千九百六十八圓にして、内勞力費は七萬六千三百二十七圓一日一人七十錢と見て十一萬四百六十七人を救済し得る譯である。今其の重なる路線を擧ぐれば

- 芋坂小千谷線(三萬圓)、岡野町十日町線
- 柿崎新井線、小田相川線(各一萬圓)、大江三條線(九千圓)、見附三條線、松代小千谷線(各八千圓)、栃尾小千谷線、大伏長岡線、寺泊興板線(各七千五百圓)、桂谷長岡線、北河原長岡線、新潟富山線、小出栃尾又線
- 萩島浦河原線、石曾根柿崎線、水津松ヶ崎線(各七千圓)等である。

公益上の篤行表彰さる

道路改築の爲め私財を寄附し公衆に利便を圖りたる篤行を嘉せられ今回左記の通り

褒賞を下賜された。

新潟縣新潟沼垂

淺井喜重

右ハ昭和五年三月公益ノタメ道路敷地ト

シテ土地二畝二十五歩寄附ス、仍テ褒賞條

例ニ依リ之ヲ表彰セラル。

福井縣敦賀郡敦賀町 田保 仁左衛門

右ハ昭和五年十一月公益ノ爲メ道路敷地

トシテ土地五畝歩ヲ寄附ス、仍テ褒賞條例

ニ依リ之ヲ表彰セラル。

同縣同郡同町 西岡 國吉

右ハ昭和三年七月道路用敷地トシテ土地

二十歩餘寄附ス、仍テ褒賞條例ニ依リ之ヲ

表彰セラル。

昭和六年九月十四日

賞勳局

關 東 方 面

兩國橋の橋臺工事着手

總工費約百餘萬圓、目下間組が施工の途

地 方 通 信

にある東京兩國橋は、工事の半ばに至り設計を變更せねばならぬやうになり爲めに約一年餘り工期を延長することとなり設計變更認可後は種々努力中の處此の程に至り橋脚工事を完了して橋臺工事に着手したから今度は豫定通りの工程進捗を見明年三月には兩國橋も更生し名物川開きも爾後一層の盛況を繰返すことにならう。

川越東京線道路の改良

埼玉縣當局で曩に計畫中であつた川越東京線道路の改良は同縣北足立郡藤折村から東京府の境界に至るもの延長四千八百八十八米を愈々改良に着手することとなつた總工事費は十九萬五千圓であるが同路線内には橋梁が現在四ヶ所設置することとなつて居り全部鐵筋コンクリート造とし路面鋪装は厚さ三十種の礫石敷輾壓で幅員は大體十米を標準とし其區間に應じ幾分の伸縮を認むることになつて居る、尙此の線の縣境界から東京市の中心を貫く府縣道の計畫は豫

て東京府當局で立案中であつたが他方面の道路改修に追はれて着手の機が熟さず帝都の中心との聯絡上埼玉縣當局では之と聯繫して引續き着手を望んで居るのであるが東京府側の計畫は道路の幅員が二十五米に築造することになつて居る。

六號國道鋪裝工事

六號國道東京府千住町道路鋪裝工事に關しては東京府土木部に於て日石道路部、高野組、大倉組、淺野物産其他請負會社入札の結果、淺野物産と百圓の差で大倉組土木部に落札した。

鎌倉三崎線開通式

府縣道鎌倉三崎線中屈折曲迷唯ならざる逗子町櫻山より葉山町間(延長二千七十九間、櫻山隧道百九十五間、葉山隧道五十八間、幅員三十三尺、工費六十五萬圓)の改良は昭和四年六月起工以來二年六月を経て曩に竣工し路面の鋪装は日石道路部に於てア

スフアルト・コンクリートを施工し且々たる新式交通路が出来たので新別荘地帯は勿論兩町民の喜祝は遂に押へ難く炎熱三十五度に昇騰した八月二十二日午前十時葉山町改築路線上に於て嚴肅なる開通式は舉行された。型の如く神事に始まりて擧式終り次で祭壇を撤し田邊土木部長の先導にて山縣知事紅白のテープを切り愈々八月二十二日正午を以て芽出度開通し一般來賓は葉山小學校に集合して立食の宴は開かれ清水内務省道路課長の萬歳に一同唱和し午後一時より處女會奉仕の餘興に移り同三時散會した尙ほ内務大臣代理として清水内務書記官、道路改良會長代理として都筑專務幹事臨場し左記祝辭を朗讀した。(口繪参照)

式 辭

本日ノ吉辰ナトシ茲ニ多數紳士諸賢ノ御來臨ヲ辱フシ府縣道鎌倉三崎線返子町葉山町間ノ道路改築工事竣功式ヲ舉行スルニ至リタルハ余ノ最モ欣快トスル所ナリ
本道路タルヤ湘南ノ勝地三浦半島ヲ縦貫

セルモノニシテ其ノ經濟的見地ヨリスルモ將タ遊覽的施設トシテ見ルモ縣下有數ノ重要道路タル已ナラス葉山御用邸其ノ沿線ニ位シ一層重要性ヲ加フルニ拘ラス從來幅員狹隘ニシテ屈曲多ク一般車馬ノ交通上危險甚數ク四季ヲ通シ數次ノ行幸啓ヲ仰クニ當リ恐懼ニ堪ヘサリシヲ以テ之カ改築ハ焦眉ノ急務ナルヲ察シ昭和三年度ヨリ三年ノ繼續事業トシテ工費總額金六拾五萬餘圓ヲ計上シ今般竣功ヲ見タル區間ノ改築ヲ企畫シタリ

爾來工ヲ急クコト三年有餘既ニ客月十一日 兩陛下ノ葉山御用邸ニ行幸啓遊ハサルルニ當リテハ其ノ全般ニ亘リ竣成ヲ告ケ且々タル新道路ヲ以テ行幸啓ヲ仰クノ光榮ニ浴シタルハ余ノ最モ欣幸トスル所ニシテ斯ノ如キハ内務當局ヲ始メ地元關係者其ノ他ノ援助ニ候ツモノ洵ニ甚大ナルヲ信ス
殊ニ余ノ感激措ク能ハサルハ上皇室ニ於カセラレテハ特別ノ御思召ヲ以テ本工事費中へ過分ノ金員ヲ賜ハリタルコトニシテ大

御心ノ存スル所ヲ恐察シ奉リ銳意工事ノ完璧ヲ期シ以テ聖旨ニ對ヘ奉ランコトヲ期セリ茲ニ竣功式ニ當リ重ネテ聖旨ノ程ヲ拜謝シ奉ルト共ニ援助ヲ與ヘラレタル一般諸賢ニ對シ深甚ノ謝意ヲ表ス
希クハ地方人士將來之レカ維持管理ニ協力シ之レカ利用ヲ完フシ以テ地方ノ發展ニ資セラレンコトヲ一言以テ式辭トス

昭和六月八月二十二日

神奈川縣知事 山 縣 治 郎

祝 辭

府縣道鎌倉三崎線返子町葉山間道路改築工事功ヲ竣ヘ本日茲ニ竣工式ヲ舉ケラルルニ慶賀ニ堪ヘサルナリ
本道路ハ三浦半島を縦貫スル幹線道路ニシテ且ツ葉山御用邸ニ達スル行幸道路タルニ拘ラス其構造近代交通ノ要求ニ適セス遺憾トスルモノ久シカリキ縣當局曩ニ之カ改築ヲ計畫スルヤ畏クモ御内帑ノ費ヲ下シ賜ヒ政府又之ヲ助成シ爾來着々工ヲ進ムルニ年資ヲ費ス事六十五萬圓工事延長二千八十

間、櫻山葉山ノ二隧道ヲ掘鑿シテ茲ニ面目一新セル近代の道路ノ新設ヲ見ル念フニ今後之ニ依テ交通更ニ一段ノ利便ヲ加ヘ地方ノ開發産業ノ進展ニ寄與スル所大ナルモアルハ勿論國防軍事上亦極メテ重要ナル使命ヲ齎スニ至ルヘシ冀クハ今後之ヲ維持管理ニ力ヲ致シ以テ長ヘニ其ノ效果ヲ收メラレシコトヲ一言以テ祝辭トス

昭和六年八月二十二日

内務大臣 安達謙藏

祝辭

神奈川縣府縣道鎌倉三崎線中逗子葉山兩町間道路ノ改築ヲ了シ本日其ノ竣功式ヲ舉行セララルニ至レルハ洵ニ慶賀ニ勝ヘサル所ナリ 願フニ逗子葉山兩町間ニ於ケル道路ハ其ノ經過スル所往々山海相逼リ地勢ノ險難ニシテ工事ノ困難ナル改築ノ舉容易ニ其ノ實現ヲ見ル能ハサリシニ官民合同ノ銳意ト努力トニ賴リ今ヤ險ヲ變シテ夷ト爲シ迂ヲ化シテ捷ト爲スニ至レリ其ノ交通ヲ利且ツ便ナラシムルコト蓋シ大ナルモノアル

ヘシ

余ハ茲ニ本道路改築ノ竣功ヲ告グルヲ見テ切ニ之ヲ祝賀スルト同時ニ此ノ事業ノ衝ニ當タル官氏諸氏ノ拂ハレシ銳意ト努力トニ對シ深ク之ヲ感謝スルモノナリ此レヲ以テ祝辭ト爲ス

昭和六年八月二十二日

宮内大臣 一木喜徳郎

祝辭

府縣道鎌倉三崎線、逗子葉山間改築工成リ本日ヲ以テ竣功式ヲ舉ケラル、洵ニ欣慶ニ堪ヘサルナリ

抑 本路線ハ湘南ノ勝地ヲ聯拘スル重要交通路ニシテ、其使命重且ツ大ナルモノアリ今之ガ改築ニ依リ其効果ノ及フ所蓋シ愈々大ナルモノアルヲ疑ハス庶クハ今後克ク其ノ維持管理ニ力メ效用ノ完キテ期セラレムコトヲ一言所懷ト述テ祝辭トス

昭和六年八月二十二日

道路改良會長 水野鍊太郎

湘南開發道路起工式

神奈川縣鎌倉郡川口村片瀨より高座郡藤澤町鶴沼、辻堂、茅ヶ崎町柳島を経て馬入川を越へ平塚町須賀より花水川を渡り中郡大磯町に至る海岸砂丘景勝の地を聯絡して湘南別荘地域の利便に供し、併せて同地方の開發を企圖し五町村聯合の下に藝に湘南開發期成同盟會を組織して山縣知事を總裁に落合、田邊兩部長を副總裁に仰ぎ銳意其の實現に奔走中の處愈内務大藏兩省の認むる所となり八月二十七日鶴沼海岸で盛大な起工式を舉げたので都筑幹事は臨場して左の祝辭を朗讀した。

府縣道片瀨大磯線道路築設ノ準備成リ本日ヲ以テ起工ノ式典ヲ舉ケラル洵ニ慶祝に勝ヘサルナリ

惟フニ地方ノ隆昌ヲ促シ民生ノ慶福ヲ進ムルノ途蓋シ道路交通ノ利ヲ治ムルヨリ先ナルハナシ湘南ノ地由來景勝ニ富ミ夙ニ内外觀光客ノ推賞スル所ニシテ其施設成ルノ曉

交通ノ利便ト地方ノ振興ニ資スル所期シテ
待ツヘキモノアラン

冀クハ官民克ク心ヲ協セカチ竭シ以テ所期
ノ成果ヲ擧グルニ最善ノ努力ヲ致サレムコ
トナ一言所懐ヲ述テ祝辭トス

昭和六年八月二十七日

道路改良會長 水野 鍊太郎

公益上の篤行表彰さる

道路改築のため私財を寄附し公衆に利便
を圖りたる篤行を嘉せられ昭和六年九月十
四日付左記の通り表彰された。

千葉縣山武郡丘山村 加 瀬 操

右ハ昭和五年五月道路敷地トシテ土地一
段三畝寄附ス仍テ褒賞條例ニ依リ之ヲ表彰
セラル

千葉縣千葉登戸 高 橋 善七

右ハ昭和四年四月道路敷地トシテ土地八
畝九步寄附ス仍テ褒賞條例に依リ之ヲ表彰
セラル

千葉縣千葉市 國松直三郎

右は昭和三年八月道路敷地トシテ土地五
畝九步寄附ス 仍テ褒賞條例ニ依リ表彰セ
ラル

千葉縣千葉郡都村 白 井 潔

右ハ昭和四年八月道路敷地トシテ土地七
畝二十一步寄附ス、仍テ褒賞條例ニ依リ之
ヲ表彰セラル

千葉縣千葉市 大塚松之助

右ハ昭和四年十月道路敷地トシテ土地四
畝十三步寄附ス仍テ褒賞條例ニ依リ之ヲ表
彰セラル

千葉縣千葉市 吉田吉太郎

右ハ昭和四年十月道路敷地トシテ土地三
畝八步寄附ス仍テ褒賞條例ニ依リ之ヲ表彰
セラル

千葉縣千葉寒川 秋元益太郎

右ハ昭和四年十月道路敷地トシテ土地二
畝四步寄附ス仍テ褒賞條例ニ依リ之ヲ表彰
セラル

千葉縣千葉寒川 田谷茂助

右ハ昭和四年十月道路敷地トシテ土地一

畝二十七步寄附ス仍テ褒賞條例ニ依リ之ヲ
表彰セラル

千葉縣千葉寒川 鈴木源祿

右ハ昭和四年十月道路敷地トシテ土地二
畝二十一步寄附ス仍テ褒賞條例ニ依リ之ヲ
表彰セラル

千葉縣千葉寒川 齋藤とぎ

右ハ昭和五年五月公益ノタメ道路敷地ト
シテ土地二畝十五步寄附ス仍テ褒賞條例ニ
依リ之ヲ表彰セラル

千葉縣千葉市 來 迎 寺

右ハ昭和四年九月公益ノタメ道路敷地ト
シテ土地三畝二十四步寄附ス仍テ褒賞條例
ニ依リ之ヲ表彰セラル

賞 勳 局

東 海 方 面

明道橋延長線新設

名古屋市明道橋延長線街路新設に關する

實測が修了したので、關係土地所有者十六名並に借家所有者及び居住者二十六名と用地の買収並に地上物件移轉の交渉中であるが此豫算は八萬餘圓で施工區間は枇杷島街道より新鐵道敷設地點迄幅員十三間半の新道を築設するもので工事としては決して大なるものでないけれども同街路は則武耕地整理組合の施工にかゝる既成十三間半幅の道路と接近して遙か西方へ縱走するもので幾分物たらぬのは枇杷島街道以東、市電菊井町交叉點の區間が現状のままでは效用を削がれる爲め、本區間が竣工の曉は右區間實現の促進劑となるであらう。

道路豫定地に家は建てぬ

愛知縣半田町より知多半田驛に至る現在道路幅員は僅かに三間にして交通發達の今日尠なからず不便を感じて居るので之を六間に改築の計畫を建て準備を進めて居るが此の區間の大地主十一名は地主會を開きて申合せをなし、工事着手に至る間は、道路

用地に對して絶對に家屋等障害物を建設せぬ事を決議し町民も亦道路の築造には積極的に利便を計る事となつた。

近畿方面

産業大道路網の確立

大阪府に於ては近年自動車交通激増し高速度交通機關の活動に適應する道路は僅かに指を屈するに過ぎぬ現状にあるため今回左記三十一線を十年間に完成せしめる大計畫を樹立した。此の總延長は三十七萬一千

五百七十五米、幅員廣き所二十七米已むを得ざる箇所は特に九米とし、所要工費は三千四百五十萬九千五百八十餘萬圓であつて、此の計畫が完成すれば大阪府下には坦々たる産業道路が四通八達し交通上産業開發上面目を一新する譯である。右に關し柴田知事は府道路委員會に諮問の結果滿場一致賛成の答申をしたので明年度豫算に計上

することになつた。其路線は國道二號線の一部、國道十六號線、大阪池田線、大阪奈良線、阿部野堺線、大阪枚岡線、大阪住吉線、大阪京都線、堺古市線、堺風線、以上第一次改良線、次は新環狀線、高槻枚方線池田龜岡線、東能勢福住線、稗田野池田線高槻伊丹線、福住池田線、東能勢吹田線、枚方八尾線、守口龍田線、八尾藤井寺線、長野平野線、國分堺線、柏原富田林線、富田林橋本線、長野堺線、鳳長野線、父鬼堺線、長野大津線、鳳佐野線、牛瀧岸和田線水間佐野線計三十一線である。

長柄橋は二百五十萬圓

大阪府が明年度架橋の豫定になつて居る長柄橋は、大阪隨一の大橋であるが其の基本型式をアーチ、サスペンション、キャンテレバリー等各種の實際計算に關し研究を重ねたる結果、キャンテレバリーを採用する方針で主徑間の長さ百二十餘米といふスパンで櫻宮橋の百六米より遙かに長く此主徑間

の外は平均三十米程度の徑間長を有するプレートガーターのゲルバーとなつて居る、鋼材料も六千噸以上に上る大物で工費約二百五十萬圓に達する豫定である。

中國方面

神戸の道路舗装と溝渠浚渫

漸やく向寒の季も迫まつたので黒瀬神戸市長は渡邊、梅津兩助役、森垣部長、三木財務、小畑土木、木村社會各課長をして研究せしめたる結果、失業救済土木事業四案を持ち寄り討議の結果問題の裏山開發事業は市會委員會の審議が進まぬため見込なく又近海島運河の防波堤は工事の性質上、失業救済事業には適せざるを以て結局第一案たる道路の舗装及び第二案たる溝渠の浚渫を行ふことになり豫算は五十萬圓の見込である。

失業救済の改修路線

廣島縣の六年度失業救済事業百萬圓の道路起債中内定した路線による四十萬圓の分は内務省から工事認可の指令が到達したので其改修路線を左の通り決定着手した。

可部宇品港線、熊野矢野全線、吳市宮原通より警固屋町間、可部加計線、山縣郡壬生町より高田郡刈田村間、河源村より樵梨村間、廣島由利線、庄原福山線、上下東城線、三成線等であつて失業救済の範圍は改修工事區域市町村の境界に接する町村を原則とし場合によつては通勤し得る他町村から雇傭することも出来ることとし其の採用資格は五箇月以上同一市町村に定住し居る者である。

四國方面

愛媛縣の道路改修

本年度に於ける愛媛縣の道路改修は全部

で二十路線に上り其延長五萬米餘に達して居るが、其内五線は現在着々工事中で完成に近づいたものもある、残り十五線中の五線を除きたる十線は近日中引續き起工することになつた尙其餘の五線は冬季失業救済に廻す豫定である。

公益上の篤行表彰さる

道路改築のため私財を寄附し公衆に利便を圖りたる篤行を嘉せられ今回左記の通り褒賞を下賜された。

香川縣大川郡白島本町 橋本 万兵衛
右ハ昭和五年十一月道路敷地トシテ土地
二畝二歩餘寄附ス仍テ褒賞條例ニ依リ之ヲ
表彰セラル

香川縣丸龜濱町 藤 井 和 一
右ハ昭和四年十一月道路敷地トシテ土地
二畝寄附ス 仍テ褒賞條例ニ依リ之ヲ表彰
セラル

昭和六年九月十四日

賞 勳 局

九州方面

國營失業救済工事概況

九州に於ける失業救済道路事業中二日市及び赤間兩事務所工事關係事容の近況は概要左の如くである。

二日市國道改良事務所事業進捗狀況は、水城村、大野村、二日市に亘り勞力費十二萬九千七百二十二圓、使用勞働者延人員十四萬八千八百人、道路延長十軒六百八十五米九五、幅員十二米で去る六月二十五日着手以來既に半ば以上進捗し既に使用せる人員は二萬八千九百五十九人、一日最高六百八十三人、勞務手帳の有効数は當初八百五なりしが其後漸次増加して現在では千二百三十八を算するに至つた。

次に赤間國道改良事務所の事業進捗狀況は河東村、岡垣村、東郷村、赤間村に亘り勞力費十三萬三千九百八十九圓、使用勞働

者延十五萬七千八百人、道路延長九軒百九十五米、幅員八米五で本年六月五日着手以來着々工事を進め既に六割五分餘の區間を竣工して居る、勞働者延四萬九千三百八十、一日最高九百七十八人、勞働手帳有効數千七百二十である。

概要右の如くであるが前者は本年十二月二十五日竣工の豫定であつて、後者は來七月二十八日終了の筈である。

大分市の道路鋪裝

大分市のセンターとも言ふべき竹町通りの道路鋪裝施工は愈々決定したので、通り中央の三丁目で起工式を舉ぐるこゝとなつたが何分初めての事であり宮本春日神社々司修祓等の儀につき市長以下擬議中である

宮崎縣の申請認可

宮崎縣から内務省に申請中の左記諸件は全部認可する旨指令に接した。

一、失業救済府縣道改良費國庫補助殘二萬六百二十九圓交付の件

二、府縣道、妻捨吉線改築設計變更の件

三、府縣道宮崎大宮線實施設計の件

四、府縣道、宮崎熊本線、宮崎福王寺線、

岩戸竹田線、西小林停車場線實施設計

右の失業救済府縣道改良工事實施設計並に國庫補助については去る六月三十日一部認可の指令が發せられ國庫補助割當額八萬三千圓の内六萬二千三百七十一圓は既に交附され今回は留保となつて居る宮崎大宮線の實施設計變更並に殘りの國庫補助に關し其後申請中であつたが共に今回認可されたのである。